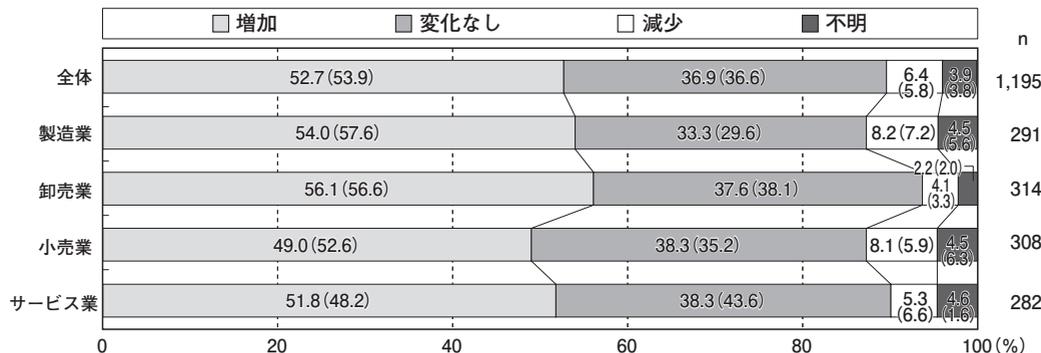


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2023年（令和5年）12月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体で見ると、「増加」が52.7%（前回調査53.9%）と最も高く、「変化なし」が36.9%（同36.6%）、「減少」が6.4%（同5.8%）の順で続いた。

図表8 コストの変化（前年同月比）



注) 無回答を除き集計。()内は前回調査（令和5年12月）の数値。

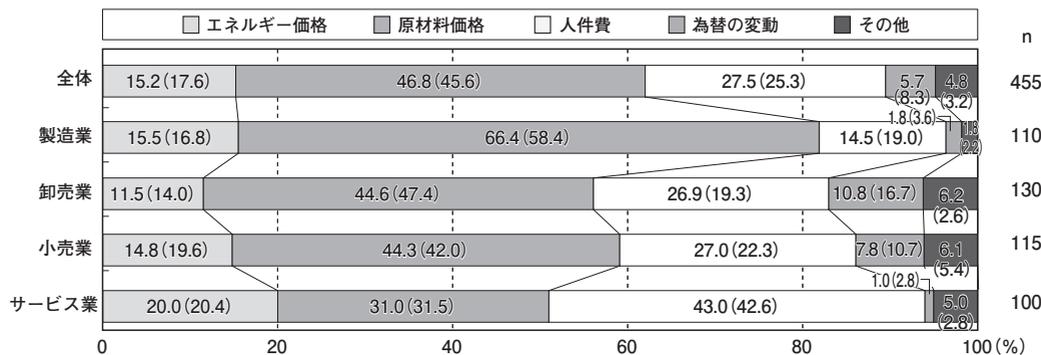
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体で見ると、「原材料価格」が46.8%（前回調査45.6%）と最も高く、「人件費」が27.5%（同25.3%）、「エネルギー価格」が15.2%（同17.6%）、「為替の変動」が5.7%（同8.3%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が66.4%（同58.4%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」が10.8%（同16.7%）と高く、サービス業は「エネルギー価格」の20.0%（同20.4%）と「人件費」の43.0%（同42.6%）が高い。

図表9 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表8）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。

()内は前回調査（令和5年12月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。